

Activity

- SUMIWAKEデモファームの技術開発と運用
- シェフと連携し飲食店での商品提供
- ECサイトによる販売
- ブランディング、情報発信

- SUMIWAKE 実践スクールの開催
- 環境教育プログラムの提供
- 事例づくりと情報発信
- 支援する仕組みづくり
- 近隣農家とのパートナーシップ構築

- SUMIWAKE実践資金の明確化と支援策の確立
- SUMIWAKE運用ポリシー、マニュアル化、運営体制の確立
- 町のマスタービジョンとの連動
- リモートセンシングを活用した情報基盤の構築

短期アウトカム

天塩増毛山地の森林周縁沿いでモデルファームの推進・研究拠点が1つできている状態

- 1、試作品等が開発されている状態
- 2、試作品を関係者間で消費できる状態

消費者に対しトレーサビリティが明確な商品や生産物を小ロット販売できる状態

生産物のファン(メイン顧客)層が形成できている状態

学びながら実践できる場が提供できている

小さな成功事例があり、それを支える人と仕組みが整っている状態

コスト低減、外部依存度を減らすことができる状態

運営していく為のイニシャル・ランニングコストをある程度予測して試算できている状態

事業の公共性と推進体制の枠組みが明確になっている状態

関係者の合意形成を進められている状態

行政と連携し、データ連携の仕組みができる

中期アウトカム

天塩増毛山地の森林周縁沿いに林畜複合生産モデルが10件出来ている状態(そのうち成功モデル3件)

生産物・副産物から生まれた製品・加工品が商品化され販売可能な状態

環境共生型のプレミアム市場が成り立っている状態

消費することで、環境、野生動物と共生ができる仕組みができている

始めた人が次の人を育て、広がっていく仕組みが出来ている

環境・社会への貢献と企業の成長を両立できる

安定した収益とブランド価値を確立し農業経営の安定化・自立度(自由度)が高まる状態

経営を支える資金調達・支援策が用意できている状態

行政と民間が連携して土地を管理する仕組みが出来ている状態

公的支援や認証制度が整い、デジタル活用で運用がスムーズな状態

蓄積情報を管理し、周辺市民に有益な情報を周知できる仕組みが整っている

長期アウトカム



1 生活者

生活の中で里山・環境保全型の生産物(畜産物、ジビエ、森林資源)を利用できる選択肢がある状態



2 管理者

(個人・企業・農家)
牧畜利用型の半農半Xを個人や企業が気軽に選択できるようになる状態



3 行政(自治体)

地域の自立力を高めて環境への貢献と野生動物との共生を実現できる

最終アウトカム

国内の個人や企業が衣食住において自立し、野生動物や環境と共生できる社会システムが構築されている